



人として自立し、社会で生きていくために必要な感性を磨く。

社会や文化を理解するための基盤となる「国語」を学び、自己表現を豊かにする言語能力を伸ばします。

自らの言語によって表現できる実践的な言語運用能力を身に付け、「国語」の授業力を養います。

教科としての「国語」を担うための教材研究能力・教材開発力を養います。



書道ゼミ作品制作風景



国語科教育模擬授業風景



国文学ゼミ(学芸員から説明を受ける学生)

4年間の学び

国語・書道専修での学びは、国語教育学・国語学・国文学・漢文学・書写書道の各部門から成る学習領域の、全5領域で構成されています。1、2年次は、諸領域への入門となる科目をはじめ、基盤となる教養科目、また、高等学校の教員になるために必要な専門科目を履修します。学年を追うごとに、高等学校の教員になるためのより高度な科目を履修するとともに、上記5領域の基礎的な科目から発展的な科目へと学習を進めます。発展的な科目については、2年次以降、各領域への関心に応じて、自らの専門性を高めるためにふさわしい科目を選んで履修します。また、2年次後半からは、研究すべきテーマをもって各領域の研究室に所属し、体系的な学習と並行して自らの研究を深めつつ、4年次には集大成としての卒業論文をまとめます。

取得できる免許

[卒業要件に含める免許状]

高等学校教諭一種免許状(国語)

[取得を優先して薦める免許状]

中学校教諭一種免許状(国語)
高等学校教諭一種免許状(書道)
◎特別支援学校教諭二種免許状

[所定の科目履修で取得可能とする免許状]

◎高等学校教諭一種免許状(情報)
※書道を選択しなかった場合

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice

学校教員養成課程 高等学校教育専攻 国語・書道専修4年
北海道釧路湖陵高等学校出身



ゼミでは「方言」の研究に没頭。
興味を探究する楽しさを
教員として伝えていきたい。

「教育」を専門的に学ぶため、北海道から入学。「国語学」ゼミに所属し、日本語の特徴、語彙の意味変化、古代からの文法変化などを幅広く学んでいます。特に興味を持っているのが「方言」です。私は北海道出身ということもあり、「話す言葉の違い」を入学当初から感じていました。キャンパスには愛知県以外の出身者も多く、いろいろな地域の言葉に触れ、ゼミの先生の「方言調査」に同行する中で、「方言」への興味が高まってきました。今後は、北海道方言に焦点を当てて調査を進めていく予定です。

■ 2023年 2年次後期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限			学校体験活動Ⅰ	中等国語科教育法CⅠ	学校教育におけるICT活用
2時限			学校体験活動Ⅰ	書道演習B	
3時限	国文学講義AⅡ	道德教育の理論と方法	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	書道演習Ⅲ	漢文学B
4時限				国文学演習BⅠ	国語学演習AⅠ
5時限	キャリアデザイン			国語学演習BⅡ	

*上記時間割で示した授業科目以外に2年次前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。